

令和3年度 児童発達支援事業所における自己評価結果

公表: 2022年 3 月 31 日

事業所名 こどもプラス大阪2nd

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		利用人数がスペースに見合った運動ができるようにプログラムを工夫しています。	事故、怪我発生を0にする
	2 職員の配置数は適切である	○		新規職員の採用も随時行い、基準を満たしています。	継続する
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		タイルカーペットを色分けすることで待機場所と勉強するスペースを分けています。事業所入口に2段の階段があり、足の不自由な児童の安全を見守りしています。	令和3年度タイルカーペットを全面張り替えました。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		整理整頓も含め消毒などもまめに行い、清潔化を図り、快適に過ごせる空間の提供しています。	特になし
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		常勤職員だけでなく非常勤も交えて実施しています。	継続する
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		今後、必要な所は、改善に努めます。	継続する
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		当社HPを活用して公表を行います。また、保護者様には、集計と回答を直接配布します。	継続する
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	こどもプラスHD本部にて評価を実施していますが、完全な外部評価は行っておりません。	外部評価の打診を行う
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		運動などのなどの、支援方法・安全面・虐待防止など、視点での研修を定期的に行っています。	特になし
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者、本人からのアセスメントを元にニーズを把握し、計画を作成しています。	特になし
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートを活用して、毎年更新しています。	特になし
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		相談支援事業所等とも情報共有を図りや本人・保護者のニーズをくみ取りながら、児童発達支援計画を作成しています。	特になし
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		全職員が支援計画を確認し支援しております。	継続する
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		常勤職員が中心となり、各支援員の長所を行かしたプログラム作成を行っている。	継続する
15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		固定化しない新しいプログラムを柔軟に取り入れています。	継続する	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	○		集団活動が中心ですが児童の状況に応じて個別での支援を行う計画も作成しています。	継続する
	17	○		勤務開始前に朝礼を行いその日の支援内容や役割分担、児童の状態の把握に努めています。	特になし
	18	○		その日の出来事を職員間で共有できるように職員連絡ノートを活用したり、翌日の朝礼で、共有を図っています。	特になし
	19	○		児童の状態や支援方法をなどを記録にとることで児童の課題を明確にし支援に活用できるようにしています。	特になし
	20	○		3か月に一度、モニタリングを実施し、計画の継続や修正など、見直しの判断を行っています。	特になし
関係機関や保護者との連携	21	○		児童発達支援管理責任者が基本的には出席しますが、児童の状況や課題に合わせて上記以外の職員が出席することがあります。	特になし
	22	○		随時連携は図っており、研修会等にも積極的に参加しています。	特になし
	23		○	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はありません。	特になし
	24		○	現在、医療的ケアが必要な児童の利用はありません。	特になし
	25	○		送迎も含めて、園などもしっかり連携を図り、その日の体調なども含めて情報の共有、連携を図っています。	特になし
	26	○		学校や支援級担任とライン、メール、電話等で情報共有等図っています。	特になし
	27	○		随時連絡はとっており、研修等には積極的に参加しています。	特になし
	28		○	令和3年度はコロナ感染防止の為見送らせて頂きました。	継続する
	29	○		市の取り組みや吹田市事業所連絡会には今後も変わらず参加させていただきます。	特になし
	30	○		保護者様とは児童の課題等についてコミュニケーションを図り、情報共有ができやすい環境づくりを行っています。	特になし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	保護者様からの相談は常時行っておりますが、ペアレントトレーニングは不十分である。	ペアレントトレーニングの充実化に向けて改善を図る。
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に必ず説明を行っており、必要な場合にも随時説明を行っています。	特になし
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		児童発達支援計画の作成後、保護者説明を行い、同意をいただいております。又、説明の際に変更等希望がありましたら、再作成を行っております。	特になし
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		常日頃より、相談を受けた場合には、助言やサポートを行い、必要に応じては外部ともしっかり連携を図っています。	継続する
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	今年度は、コロナ感染防止の為保護者会等は開催できませんでした。	令和4年度は開催予定
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談を受けた場合には、助言やサポートを行い、必要に応じては外部ともしっかり連携を図っています。	継続する
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPIにて活動の様子を報告しております。	継続する
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	○		保護者様に、契約時に説明を行いお写真などに関しては事前に同意をいただいています。また、教室からの流出のない対応を心がけています。	継続する
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カード、書面では、拡大文字版・ルビ版などを作成し、対応しています。	継続する
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	令和3年度はコロナ感染防止の為見送らせて頂きました。	継続する
	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		契約時に、説明は行っておりますが、保護者様への完全周知できているかが課題である。マニュアルの更新と共に書面や保護者会などで周知を図っていきたく考えます。	全マニュアル、訓練等の実施を保護者様へ報告を行う。
非常時等の対応	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に避難訓練をを行っています。	継続する
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		通所前にアセスメントに記入いただき状況確認を行っています。毎年更新しております。	特になし
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者様よりアレルギーに関する情報は伺っておりますが、医師の指示書までは頂けておりません。必要であれば指示書の提供を求めていきます。	特になし
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		事業所内で事例をファイリングし、いつでも閲覧できるようにしています。	特になし

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待研修は毎年度実施し、虐待0について取り組みうを行っており、役所やSSWなどとも、連携しての対応を心がけています。	特になし
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○	身体拘束0に向けての取り組みを行っており、身体拘束の実施はありません。	特になし

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。